

～瀬戸内海・長島からのメッセージ～

長島の自然写真展・DVD 上映とお話



海に広がる黄金の花畑(スギモクの生殖器床)
スギモクは日本海特産種ですが、瀬戸内海においては長島の田ノ浦と、姫島の西浦の二箇所だけに分布しています。



絶滅危惧種・カムリウミスズメ
が発見されました。

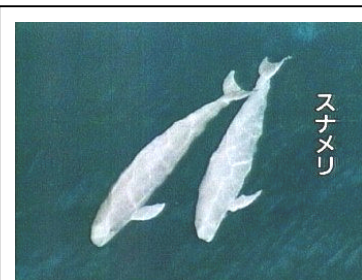
希少生物の宝庫、田ノ浦(長島)

山口県熊毛郡上関町長島の突端に田ノ浦という風光明媚な湾があります。ここはかつて神社地だった場所に深い森がありました。その森から流れ出る水と、海にわき出る清水とに恵まれて数々の希少生物が今も数多く生息しています。

ところが今、その希少生物の宝庫にかつてない危機が訪れようとしています。

かねてこの地に原子力発電所の建設を計画していた中国電力が去る6月17日、山口県に対して公有地の埋め立て申請をしました。もし、山口県から公有地埋め立て許可が下りると、深い森のあった山は削られ海は相当な範囲を埋め立てられてしまいます。そうなると、この地に生きる希少生物たちは壊滅的な打撃を受けることでしょう。

瀬戸内海は日本で最初に指定された国立公園で、国民の貴重な財産でもあります。長島は瀬戸内海で唯一と言ってもいいほどの自然な海岸線を残した場所です。この貴重な場所を手つかずのまま未来の人たちに渡すためにどうすればいいか、この地に生息する希少生物の写真を見ながら考えていきましょう。(写真展、DVD上映会の詳細は、裏をご覧ください。)



スナメリ

かつては瀬戸内海全域で見られた世界最小のクジラの仲間、スナメリ。

今は長島近海でしか見ることができなくなりました。ここは、スナメリの出産、子育ての海でもあります。